

令和5年度第2回県立障がい福祉施設評価員会議 議事要旨

- | | |
|------|-------------------------------------------------|
| 1 日時 | 令和6年2月1日(木)13:00~16:20 |
| 2 場所 | 岐阜県庁17階 1703会議室 |
| 3 議題 | 令和6年度の事業計画について
令和5年度第1回評価員会議における評価結果への対応について |

【主なご質問・ご意見】

<陽光園>

《評価員からの質問・意見》

- ①身体障がい者を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②施設として取り組みたい事項は利用者へどのように伝えているか。(A評価員)
- ③施設のあり方の検討とはどのようなものか。(B評価員)
- ④今後どのような人が利用する施設になるのかも含めて、施設のあり方を検討するのか。
(E評価員)
- ⑤事故・トラブル対策として効果があった取組は何か。(A評価員)
- ⑥事故の結果や対応等を他の施設にも共有し、形がい化しないよう継続して行ってほしい。
(D評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①リフトリーダーの養成と地域交流に取り組みたい。
- ②毎月実施する利用者のフロア別会議で伝えている。
- ③老朽化が著しい施設の再整備の方向性を検討するものである。
- ④そのとおりである。県と実情を把握している指定管理者で、方向性を検討していく。
- ⑤職員による利用者への見守り強化と事故発生後の事故の原因分析に効果を感じた。
- ⑥類似事業については、再発防止を既に他施設間で共有している。

<三光園>

《評価員からの質問・意見》

- ①身体障がい者を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②施設内で感染が拡大した感染症の感染経路や感染状況はどうだったか。(A評価員)
- ③職員の支援に対する考え方はどうか。コミュニケーションをとる場はあるか。(A評価員)
- ④きれいで安心安全な施設であることを最優先に予算を検討してほしい。(D評価員)
- ⑤安全との兼ね合いを考慮の上、ノーマライゼーションの実現に努めてほしい。(E評価員)
- ⑥日常で当たり前なのは、入所施設でも基準として整えて行ってほしい。(A評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①利用者の余暇の充実とリフトリーダーの養成に努めたい。
- ②感染経路は利用者の通院と考えられる。発熱、咳等があったが重症ではなかった。
- ③利用者の思いに沿った支援をしたいと職員全員が考えている。
サービス担当者会議において、職員間のコミュニケーションはとっている。
- ④利用者の要望や環境の安全確保を踏まえた予算の計上を引き続き行いたい。

<サニーヒルズみずなみ>

《評価員からの質問・意見》

- ①身体障がい者を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②けがの早期発見のため取り組んでいることはあるか。(A評価員)
- ③通所事業のニーズはどうか。通所も縮小や廃止がありえるのか。(E評価員)
- ④外部との関わりについて、今後の計画はどうか(D評価員)
- ⑤福祉避難所が実際開設できる状況であるか再整理が必要だと思う。(E評価員)
- ⑥事故対応マニュアルを県と指定管理者で見直した方がよい。(B評価員)
- ⑦コロナ禍でQOLの低下が著しいため、機能低下防止の取組をしてほしい。(D評価員)
- ⑧真心を追求しながら、利用者一人ひとりに寄り添った支援をしてほしい。(E評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①ボランティアの受入や地域との関係の再構築に努めたい。
- ②毎日の検温といった体調管理のほか、入浴時に身体の様子も確認している。
- ③定員に空きがある状況が続いており、新規希望も見つからない。
職員を必要なところに割り振るため、縮小や廃止も手段の1つとしてある。
- ④ボランティアといった外部からの協力を得て、利用者の楽しみを増やしたい。
- ⑤地域住民と一緒に開設訓練を実施できたらよいと考えている。

<幸報苑>

《評価員からの質問・意見》

- ①身体障がい者を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②誤嚥防止や口腔ケアの取組の内容、効果や利用者の取組状況はどうか。(A評価員)
- ③定員数を減らしても資金面で問題はないのか。(B評価員)
- ④赤字の施設が多いが、どの施設も赤字なのか。(E評価員)
- ⑤コロナ禍で閉鎖的な状況から一転、元に戻すのは大変ではないか。(E評価員)
- ⑥自立度が高いからこそ職員の見守り意識が低いということはないか。(D評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①事故防止対応と利用者の帰省を含めた外出に努めたい。
- ②歯科医師やPTから助言や舌磨き、舌運動といったケアをしてもらっている。
利用者の食形態の維持や向上を感じており、前向きに取り組む利用者が増えている。
- ③定員を減らすことで報酬単価が上がるため、収入の面は改善される。
- ④赤字・黒字の施設いずれもあるが、令和5年度は全体として赤字見込みである。
- ⑤長期にわたり閉鎖的であったため、急激には戻せない。少しずつ活動を企画していきたい。
- ⑥利用者の身体機能の低下が進んでいるため、利用者・職員ともに意識改善に努め、個別の支援をしていくことに取り組んでいる。

<ひまわりの丘>

《評価員からの質問・意見》

- ①知的障がい児を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②子どもの意思決定を大切にすることではなく、虐待防止対策が最重要課題なのか。
(D評価員)
- ③虐待防止対策の取組による職員の意識変化から、どのような実践に結びついたか。
- ④運営が赤字となる制度上の問題とは何か。(D評価員)
- ⑤どのような事情で入所しているのか。(E評価員)
- ⑥子どもの気持ちを受け取るために、コミュニケーションは大切であり、それを伸ばしていつて
もらいたい。(C評価員)
- ⑦入所児も人生を学べるような機会を作り、支援していくことが大切だと思う。(C評価員)
- ⑧過去を教訓にすることは理解できるが、最重要課題ではないのではないかと感じる。
虐待防止対策が最重要課題であるとの書きぶりを見直してもらいたい。(A評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①子どもたちの意思決定を大切すること、家族面会やボランティアの受入に努めたい。
- ②過去に虐待の事例があり、二度と繰り返さないよう意識するため、最重要課題としている。
障がい特性の学習や職員面談等を通じて職員の困り感をなくし、虐待防止につなげたい。
- ③風通しのよい職場環境となり、職員同士が声をかけ合えるようになってきている。
- ④福祉型障害児入所施設は、その他の障がい福祉サービス事業と比較して、制度上報酬単
価が低く、人員配置基準も厳しいため、収入より人件費が嵩んで赤字となりやすい。
- ⑤虐待、保護者の病気や重度の障がいで育て方がわからないといった事情がある。

<みどり荘>

《評価員からの質問・意見》

- ①知的障がい者を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②グループホーム事業の廃止理由は何か。残っていた利用者はどうしたか。(E評価員)
- ③強度行動障がいにおける研修はひまわりの丘のものと同じ研修か。(B評価員)
- ④身体拘束の内容は何か。どのような取組により、時間削減の効果があったのか。(E評価員)
- ⑤利用者が職員や地域に対して行う活動は何かあるか。(C評価員)
- ⑥地域に根付いた施設だったが、地域交流がなくなってきており、残念。(E評価員)
- ⑦施設の問題を社会問題していくために、施設の公開、公表に努めてほしい。(C評価員)
- ⑧身体拘束が不要な生活にすることを目的であることを意識してほしい。(E評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①適切なサービスの提供と個別性を重視した支援に努めたい。
- ②ニーズがなく空床が続いており、経営状況も悪化しているため廃止することとした。
利用者は同法人内のグループホームに移行した。
- ③同じものである。ひまわりの丘、みどり荘の職員が横並びで研修を受けている。
- ④他の利用者の支援の際に、部屋の扉を施錠し、利用者の行動を制限していた。結果として、
拘束時間の減少に繋がった事例もあった。
部屋に鍵をかけない場合の状況を調査し、身体拘束しなくてもよい状況を探っていた。
- ⑤自治会全体会やなんでも相談で意見は聞き取るが、地域に向けて行う機会はなかった。

<はなの木苑>

《評価員からの質問・意見》

- ①知的障がい者を対象とする施設として重点的に取り組みたい事項は何か。(A評価員)
- ②廃止することとなった一般相談支援事業の実績が0件なのはなぜか。(B評価員)
- ③基幹相談センターを廃止する理由は、人員不足か。(B評価員)
- ④専門性の高い支援を目指し、利用者の思いをくみ取ってほしい。(C評価員)
- ⑤取り組んだケアで生まれた変化を明らかにしてほしい。(C評価員)
- ⑥支援において人の力は必要不可欠であることを意識してほしい。(E評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①利用者に対する支援の質の向上と相談支援事業の安定した運営をすることである。
- ②ほとんどが特定相談や基幹相談により対応できており、一般相談では実績がなかった。
- ③基幹相談を維持できる資格のある職員の配置と地域とのパイプ維持が難しかった。
安定した相談事業ができる範囲を検討した結果、廃止の方向となった。
- ④要望や気持ちを上手く言葉にできない利用者の一歩の理解者となれるように対話していく。
- ⑤利用者の変化に気づき、利用者の思いを考えた支援を心がけていく。
- ⑥職員間で連携しながら、焦らず支援を続けていく。

<指定管理者全体について>

《評価員からの質問・意見》

- ①留学生の職員への登用は、各施設で行うのか。(B評価員)
- ②地域との連携のため、施設周囲の社会資源の開発に努めてほしい。(C評価員)
- ③制度上できる事業に制限はあるが、あきらめず支援してほしい。(E評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①法人としての取組である。留学生として修学後、令和9年度から職員として雇い入れるよう計画している。